

Web 2.0 の原則に基づく OPAC の要求定義

安藤友晴

●要約

現在、書籍や雑誌の書誌情報を検索するために、OPAC (Online Public Access Catalog) が利用されることが多い。しかし、現在の OPAC には、検索の精度に問題がある場合がある。また分類記号や件名の付与に困難がある場合もある。

一方で、近年「Web 2.0」という新しい WWW (World Wide Web) の概念が登場した。これにより、個人の情報発信が促進され、そのような情報が集積されるような新たなサービスが産み出されている。

本研究では、先にあげたような OPAC の困難性を解決するため、Web 2.0 の原則に基づく OPAC の要求定義をおこなった。この OPAC は次のような機能を持つ。

- ・利用者からのフィードバックの取得
- ・関連する情報の表示
- ・フオークソノミーの利用
- ・他のサービスとの連携
- ・API の提供
- ・パーソナライズ機能の提供

このような機能を実装することで、従来の OPAC の機能が拡張され、OPAC の利便性が高まることが期待できる。

●キーワード

OPAC

Web 2.0

パスファインダー